

GLOBAL EQUITY
TOP FOCUSグローバル株式
トップフォーカス2022年11月2日
日興アセットマネジメント株式会社

ファンドの特徴および運用概況について

世界の株式を投資対象として厳選投資を行なう当ファンドは、2016年3月の運用開始から約6年半が経過しました。

この間、米中貿易摩擦の激化やコロナ・ショック、さらに、ロシアによるウクライナ侵攻のほか、高インフレと主要国・地域での積極利上げを背景とした、世界的な景気減速懸念など、世界の株式市場は度々、難局に見舞われてきました。しかし、当ファンドは、銘柄選択の効果に加え、足元での円安という追い風もあり、今年9月中旬には最高値の25,346円を記録するなど、良好な成績を上げ、設定来のパフォーマンス（2022年9月末時点）は+127%と、世界の株式市場全体の動きを上回っている状況です。

本資料では、この機会に当ファンドの特徴を改めてお伝えするとともに、組入上位銘柄を例として、実質的な運用を担っている、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのグローバル株式運用チームの見解をご紹介します。



基準価額： 22,702円 純資産総額： 3.06億円
(2022年9月末時点)

※基準価額は信託報酬控除後の1万口当たりの値です。

※世界株式はMSCI ACワールド指数(トータルリターン)の値で、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、前営業日の同指数の値と為替で日興アセットマネジメントが円換算したデータです。なお、同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

ファンドの特徴について①

- 当ファンドは**世界の株式を投資対象として厳選投資**を行ないます。**実質的な運用は、エンジンバラを拠点とする、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのグローバル株式運用チーム**が担います。
- 同運用チームは、**高い投資収益が得られるとの確信度*が高い銘柄のみに厳選投資**を行ないます。そうした確信度が低い場合には、例え主要株価指数の構成上位銘柄であっても 投資を行ないません。

*確信度はグローバル株式運用チームによる主観的評価であり、絶対的なものではありません。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

組入上位10銘柄
(2022年9月末現在)

組入銘柄数：44銘柄

	銘柄	国名	業種	比率	企業概要
1	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	6.1%	世界各地で事業を展開するソフトウェア会社。アプリケーション、クラウド・ストレージ、高度セキュリティソリューションなどを提供。
2	コンパスグループ	イギリス	一般消費財・サービス	3.7%	世界各地でケータリングなどのサービスを展開するフードサービス会社。主なサービス提供先は、オフィス、工場、病院、介護施設、学校、スポーツ会場、軍事施設、沖合プラットフォームおよびその他遠隔施設。
3	ダナハー・コーポレーション	アメリカ	ヘルスケア	3.5%	専門器具メーカー。試験、計測、環境、生命科学、歯科、工業技術などの分野で使用される、専門・医療・商工業用器具を設計・製造・販売。
4	パロマー・ホールディングス	アメリカ	金融	3.3%	特殊不動産保険商品の提供に注力する損害保険持株会社。主なカバー分野は、住宅および商業施設を対象とした、地震、ハリケーン、洪水など。
5	カーライル	アメリカ	資本財・サービス	3.2%	建築資材、輸送素材、一般工業製品の製造・販売を手掛ける複合企業。同社の製品は、建設、輸送、食品サービス、航空機製造、園芸用機具、その他工業など、広範囲な分野で使用される。
6	HDFC	インド	金融	3.0%	住宅金融会社。在外インド人向けに、リフォーム用も含めた幅広い住宅ローンや非住宅ローンなどを提供。インド、クウェート、シンガポール、オマーン、アラブ首長国連邦、英国などで事業を展開。
7	インターコンチネンタル取引所	アメリカ	金融	3.0%	グローバル・コモディティと金融商品市場を運営するオンライン取引所。電力エネルギー市場とソフトコモディティ取引所も経営。原油・石油製品、天然ガス、電力、排出権のほか、ココア、コーヒー、綿、オレンジジュース、砂糖などの農産物をベースとする先物取引を提供。
8	ディアジオ	イギリス	生活必需品	2.8%	ウォッカ、ウイスキー、テキーラ、ジン、ビールなど、幅広いブランドで飲料を販売するアルコール飲料メーカー。
9	ザ コカ・コーラカンパニー	アメリカ	生活必需品	2.7%	ソフトドリンク濃縮液およびシロップの製造、販売、流通に従事する清涼飲料メーカー。果汁および果汁飲料製品も手掛ける。世界各地の小売店および卸売業者に製品を販売。
10	プログレッシブ・コープ	アメリカ	金融	2.7%	米国で事業を展開する保険持株会社。子会社を通じて、個人・商業用自動車保険とその他特別損害保険および関連サービスを提供。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。なお、上記比率は、主な投資対象である「日興AMグローバル・エクイティ・ファンド クラスP」の純資産総額比です。

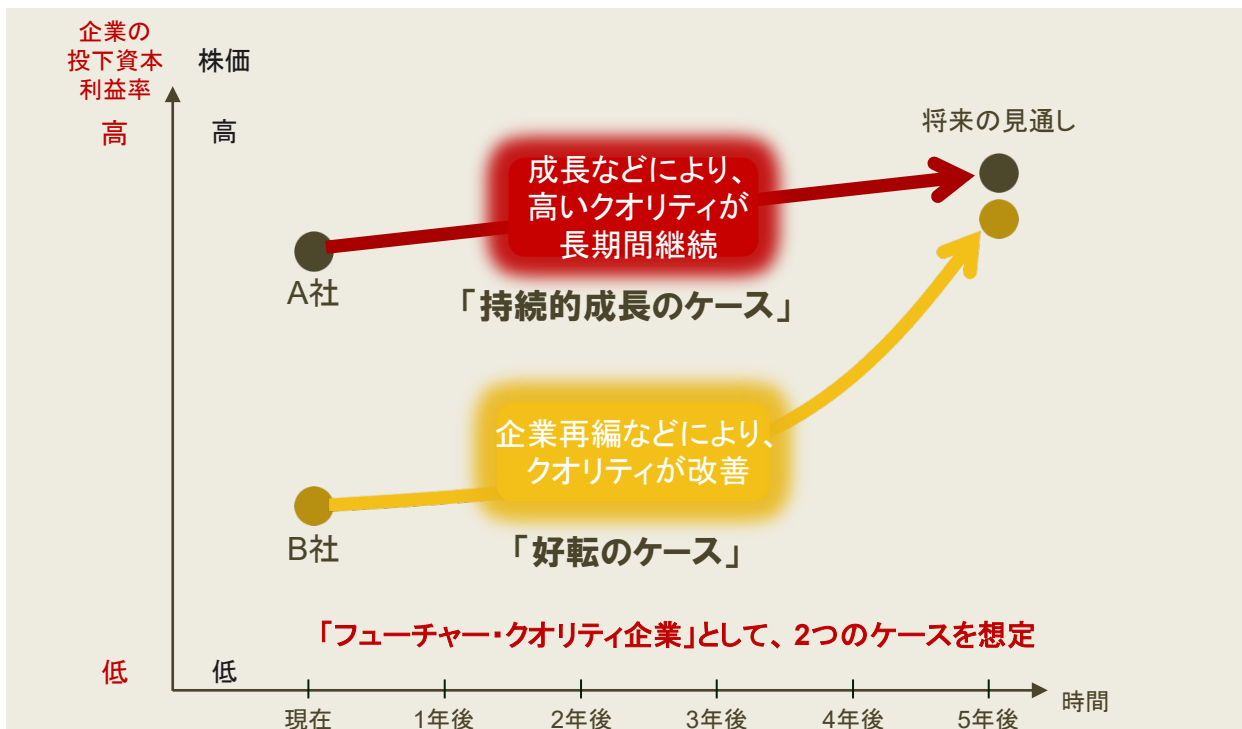
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

ファンドの特徴について②

- **重要な特徴**として、同運用チームが「**フューチャー・クオリティ**」、意識すると「**将来の勝ち組**」という**独自の哲学を重視して厳選投資**を行なう点が挙げられます。その結果、当ファンドは、市場環境に大きく左右されないものの、**グロース色を帯びる傾向**があります。
- 「**フューチャー・クオリティ**」とは、事業に投じた資金に対して**効率的に高い利益を生みだし、それを持続することなどを背景に株価上昇が期待できる企業**のことを指します。
- 「**フューチャー・クオリティ**」の決め手となる**効率性**の見極めには、**株価の有力な決定要因**と考えられる**投下資本利益率**の行方を、「事業」「経営」「財務」「バリュエーション」という4つの観点から検証します。なお、投下資本利益率と株価の関係は、下図の通りです。
- 銘柄選択に際しては、ESG*評価を考慮します。

*環境・社会・企業統治

「フューチャー・クオリティ企業」の収益性と株価のイメージ



※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。
※上記はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

組入上位銘柄（2022年9月末現在）について①

カーライル

（業種：資本財・サービス）



アメリカ

- 産業・商業施設や住宅向けの建材製造を中核事業とし、航空宇宙や医療機器向けのケーブル、塗装なども手掛ける複合企業。
- 断熱屋根など、建物のエネルギー効率を高める製品分野におけるリーディング企業で、オフィス・ビルや住宅などのエネルギー消費効率を改善し、CO₂排出削減に貢献。
- 非中核部門を売却し、環境・エネルギー面で課題を抱える顧客向けのソリューション事業に注力し始めたことなどを踏まえ、「フューチャー・クオリティ企業」と評価。



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

以下は、グローバル株式運用チームによる検証コメント(2022年8月時点)の一部を例示したものです。

実際には、4分野それぞれにおいて、より多岐に亘る分析・評価が行なわれています。

事業

- 高収益の北米の屋根材業界における強力な地位を背景に、投下資本利益率は高水準。

経営

- 経営陣はサステナブル（持続可能）な建築資材の製造・販売に注力。
- エネルギー消費効率の改善、CO₂排出量削減といった、環境面の課題を解決するための顧客向けソリューションという、収益性の高い分野への資本配分を実行。

財務

- 事業の資本集約度は低く、キャッシュの創出力は高い。
- 非中核部門をさらに売却する場合、追加的な資本獲得を期待できる。

バリュエーション

- グループ全体の価値を勘案すると、株価は割安水準と判断される。
- 非中核部門をさらに売却すれば、割安に放置されてきた同社株式の再評価につながるも期待される。

上記は、当資料作成時点の日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドの見解をもとに日興アセットマネジメントが作成したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。なお、見解は変更される場合があります。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

組入上位銘柄（2022年9月末現在）について②

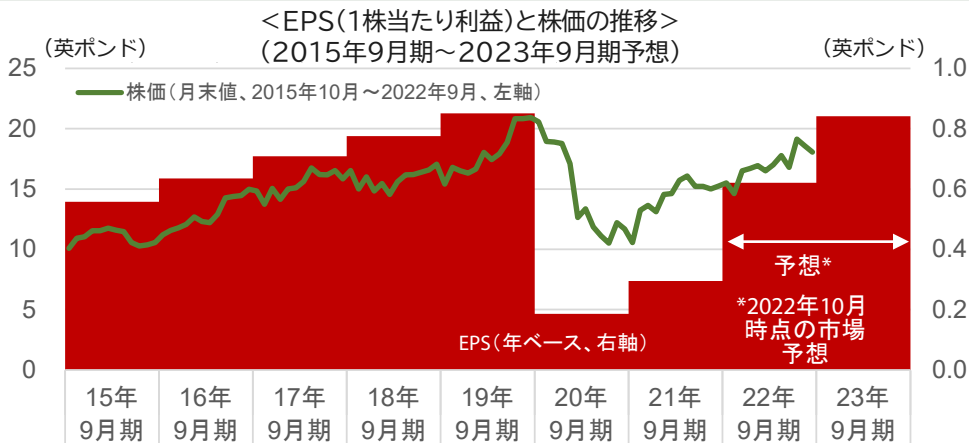
コンパスグループ

(業種：一般消費財・サービス)



イギリス

- ケータリングや給食などのフードサービス業界の世界的大手で、北米や欧州を中心に、日本を含む40超の国・地域で事業を展開。
- オフィスや工場、幼稚園から大学までの教育施設、病院・高齢者施設、スポーツ・レジャー・娯楽施設などでサービスを提供。また、食品廃棄物や包装材の削減に取り組んでいる。
- コロナ禍の最悪期を経て、シェア拡大や売上回復などに伴う成長が見込まれる一方、市場機会が過小評価されているとみられることなどから、「フューチャー・クオリティ企業」と評価。



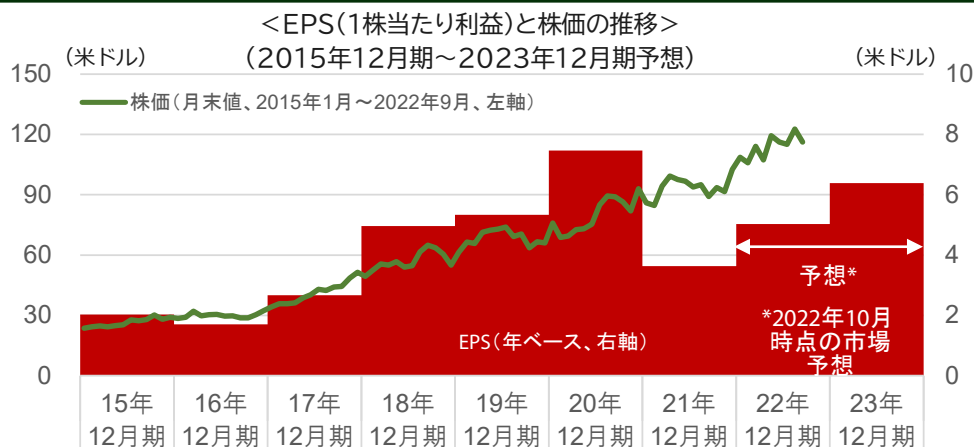
プログレッシブ・ ユープ

(業種：金融)



アメリカ

- 車載センサーからのデータをもとにドライバー毎の事故率を予想し、それに応じた保険料を適用する「テレマティクス保険」を最初が開発・商品化した自動車損害保険会社。2015年には企業買収により火災保険にも参入し、同分野でもイノベーションを追及。
- 代理店を介さない直販モデルや積極的なIT投資により、高効率の事業運営を実現。また、運転データの蓄積により参入障壁を構築。
- データ重視の事業モデルは効率性や成長性が高いとして、「フューチャー・クオリティ企業」と評価。



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当資料作成時点の日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドの見解をもとに日興アセットマネジメントが作成したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。なお、見解は変更される場合があります。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

ファンドの特色

1

世界の株式を投資対象として厳選投資を行ないます。

- 日本や新興国を含む世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主な投資対象とし、投資スタイル(グロースやバリュー)、国・セクターなどにとらわれることなく、ESG*評価も考慮して、相対的に魅力があると判断される40~60程度の銘柄に厳選投資します。*環境・社会・企業統治
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

2

日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが実質的な運用を担当します。

- 株式運用において実績を持つ日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドのグローバル株式運用チームが、当ファンドの主な投資対象である「日興AMグローバル・エクイティー・ファンド クラスP」の運用を行ないます。

当ファンドでは、事業に投じた資金に対して効率的に高い利益を生みだし、それを持続することができる企業を『フューチャー・クオリティ企業』と呼び、魅力的な投資対象と考えています。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様は帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

- ※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- ※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。
- ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル株式トップフォーカス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様は帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2026年3月16日まで(2016年3月31日設定)
決算日	毎年3月15日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・英国証券取引所の休業日 ・ロンドンの銀行休業日 ・ルクセンブルクの銀行休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し年率1.238%(税抜1.13%)程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.188%(税抜1.08%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.05%程度となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目録見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(50音順、資料作成日現在)